

調達管理番号・案件名

24a00210_全世界2024年度案件別外部事後評価パッケージⅡ-1(インド、バングラデシュ)(QCBS-ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2024年7月19日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	2	2. 該当部署・日程等	プロポーザル提出の期限日時が7月26日12時と記載されております。	2024年7月導入の施策にて、QCBS方式の案件についても質問が1回に変更になった事に伴い、プロポーザル提出の期間についても変更になりました。
2	17	第2章特記仕様書	その他特記事項として、…。また本事業での経験を踏まえ、地方自治農村開発協同組合省・地方自治局に対し、地方行政の法制度面を強化するための有償付帯技術協力プロジェクトを実施することになっていた。これらについて、どのように取り組まれ、どのような効果があったかについて確認する。	質問内容の項目に、全文が記載されていないように思います(ご質問内容が確認できません)が、質問内容に記載されている内容(公示資料の該当箇所)は、事前評価表からの抜粋になります。 https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2012_BD-P74_1_s.pdf
3	23	第2章第4条(7)IRR ●評価案件: 1)インド:ヒマーチャル・プラデシュ州作物多様化推進事業 2)バングラデシュ:北部総合開発事業	審査時にIRRを算出した際のエクセル表は、ソフトコピーとして、貴機構に残っておりますでしょうか。ソフトコピーの有無で、業務量の変動が想定されるため、上記お伺いする次第です。	以下、ご回答いたします。 1)インド:ヒマーチャル・プラデシュ州作物多様化推進事業ソフトコピーがあります。 2)バングラデシュ:北部総合開発事業 本事業ではサブプロジェクト毎にEIRRを算出しており、サブプロジェクトのEIRRの数値はハードコピーで保管しています。EIRRの算出方法については業務開始後に実施機関に確認いただく想定です。 なお、本事業はサイトが多岐に亘るため、EIRRの再計算は踏査対象のサイトのみを想定しています。
4	23	第2章第4条(7)詳細分析 →(6)詳細分析 1)インド:ヒマーチャル・プラデシュ州作物多様化推進事業、ヒマーチャル・プラデシュ州作物多様化推進プロジェクト、ヒマーチャル・プラデシュ州作物多様化推進プロジェクト(フェーズ2) ※ウェルビーイングにかかる分析	現地調査補助員8人日分程度が、HP州それぞれの通常の定性調査に追加となることを想定しているとあります。「それぞれ」とは第一次現地調査・第二次現地調査の両方を指しているのでしょうか。	「第二次現地調査期間中にウェルビーイング調査を実施する。」と記載しており、8人日程度は、第二次調査分(調査に係る事前の準備も含む)となります。